

会見年月日	令和6年1月24日（水曜日）		
担当課	観光課	（担当者名：山口）	
問い合わせ先	TEL：0791-43-6839	（内線：2261）	FAX：0791-46-3400
担当課	文化財課	（担当者名：中田）	
問い合わせ先	TEL：0791-43-6962	（内線：2324）	FAX：0791-43-6895

赤穂市日本遺産展 2024 の開催について

1. 趣 旨

赤穂市の2つの日本遺産を通じて、赤穂の魅力あふれる歴史文化を多くの方に知っていただき、日本遺産の認知度向上を図ることを目的に、2つの企画展を同時開催します。

※ 赤穂市の2つの日本遺産

- ・「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂
- ・荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～

※ 2月13日は「日本遺産の日」です。

2. 内 容

- (1) 名 称 赤穂市日本遺産展 2024
- (2) 会 期 令和6年2月10日（土）～令和6年2月18日（日）
ただし、2月13日（火）は図書館休館日
観覧時間は午前10時から午後6時、金曜日は午後8時まで
最終日の2月18日（日）は午後5時まで
- (3) 場 所 赤穂市立図書館 1階 ギャラリー
- (4) 観覧料 無料
- (5) 主 催 赤穂市日本遺産推進協議会
- (6) 内 容

企画展1 2024 みんなでつくる赤穂市日本遺産写真展（担当：観光課）

「みんなでつくる」をコンセプトに、2つの日本遺産のストーリーや構成文化財に関連した魅力的な場面や風景等の写真を、令和5年7月3日～11月30日の間で募集しました。今回は応募作品のうち、事務局が選定した50作品を展示し、来場者の投票により、優秀作品を選定します。

企画展2 塩田へ海水を導く水路「水尾」の今昔展（担当：文化財課）

かつての塩田の間に張りめぐらされていた「水尾」に焦点をあて、入浜塩田と水尾の関係、現在のまちなに残る水尾の面影などを写真・パネル展示等により紹介します。

赤穂市 日本遺産展 2024

2つの企画展を同時開催
赤穂市立図書館1階ギャラリー 2.10[土] ▶ 2.18[日]



赤穂市立海洋科学館 塩の国と水尾 / 「『日本第一』の塩を産したまち 播州赤穂」構成文化財

企画展 ① 2024みんなでつくる赤穂市日本遺産写真展

企画展 ② 塩田へ海水を導く水路「水尾」の今昔展

会期 令和6年2月10日(土)～2月18日(日)
10:00～18:00、2月13日(火)は休館
金曜日は20時、2月18日(日)は17時まで



主催 赤穂市日本遺産推進協議会 TEL 0791-43-6839 FAX 0791-46-3400



地域の歴史的的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が「日本遺産」に認定するとともに、ストーリーを語るうえで不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図ります。

赤穂市の2つの日本遺産



「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂

兵庫県赤穂市は、江戸時代に入浜塩田の一大生産地として栄えた、瀬戸内海に面したまち。市内各地にはその繁栄を体感できる数々の歴史文化遺産が残されています。赤穂は、いまでも塩の国なのです。



荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

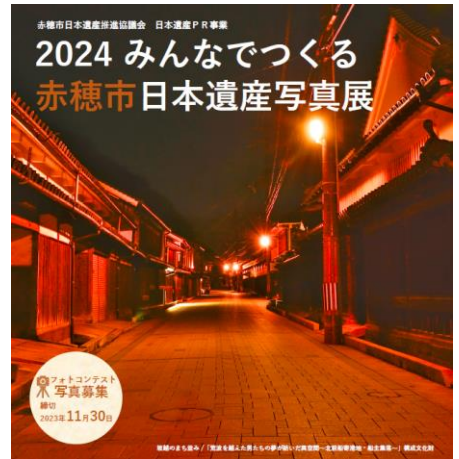
江戸時代に開かれた西回り航路によって全国の主要港をつなぎ、産物だけでなく文化をも運んだ北前船。赤穂市坂越にはその寄港地として栄えたことを伝える歴史文化遺産が、今も数多く残されています。

赤穂市日本遺産展2024では2つの企画展を同時開催！

企画展 ① 2024みんなで作る赤穂市日本遺産写真展 概要

令和5年7月3日から11月30日までの間で、赤穂市の2つの日本遺産のストーリーや構成文化財に関連する写真を募集したところ、62作品の応募がありました。本展では、そのうち、事務局が選定した50作品を展示します。あわせて、来場者による投票を行い、みんなが優秀作品を選定します。みんなが撮影した赤穂の魅力な歴史文化をぜひお楽しみください。

協賛 赤穂市漁業協同組合、赤穂化成株式会社



企画展 ② 塩田へ海水を導く水路「水尾」の今昔展 概要

「塩づくりの歴史」の日本遺産構成文化財のひとつに「水尾」があります。「水尾」とは、塩田へ海水を導入したり、完成した塩や、燃料となる薪などを運搬する小舟が行き来したりするための水路です。かつて塩田の間に張りめぐらされていた「水尾」に焦点をあて、入浜塩田と水尾の関係、現在のまちに残る水尾の面影などを写真・パネル展示によって紹介します。

